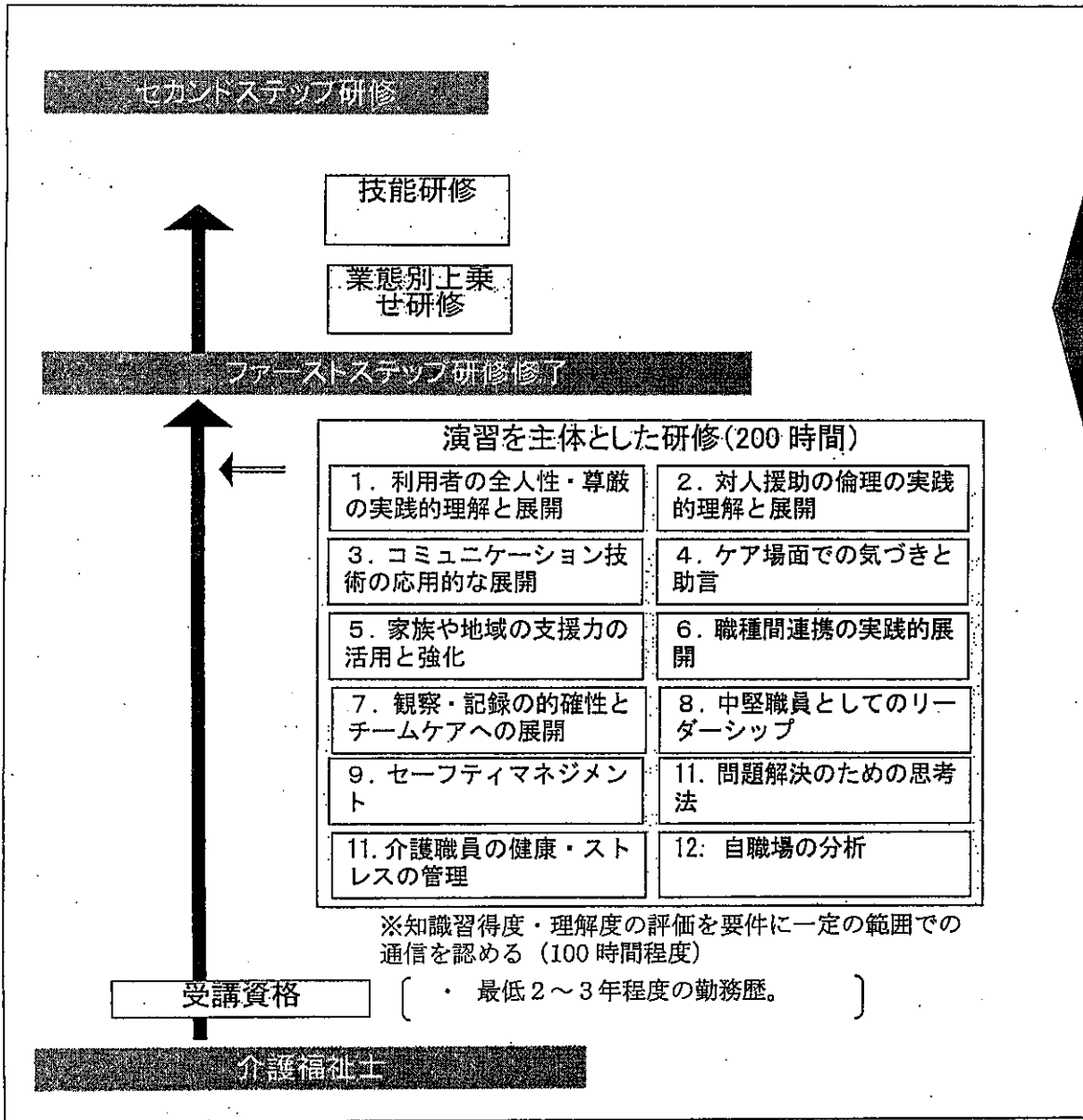
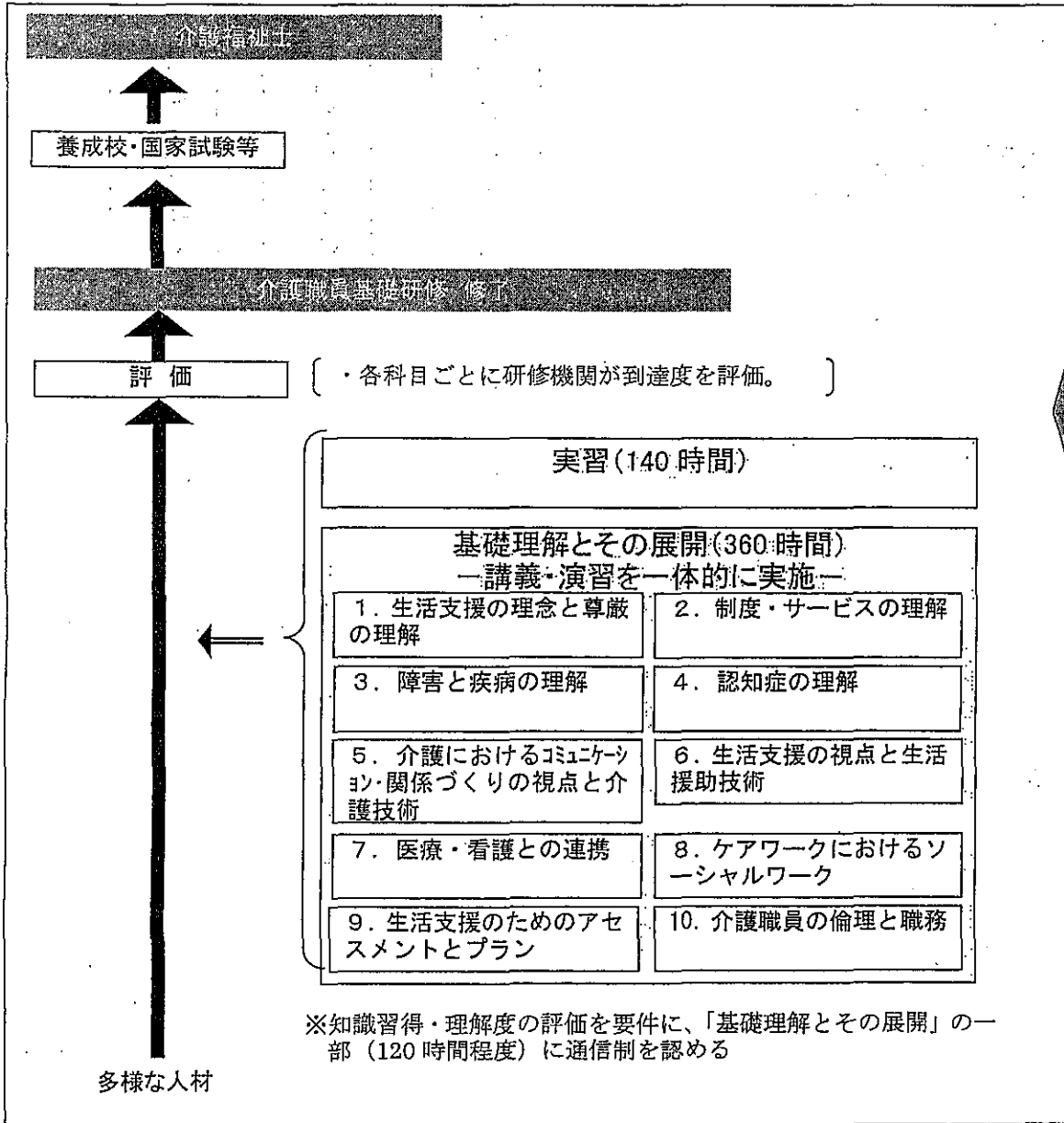


ファーストステップ研修の概要



- ### 研修の目的概要
- 実務経験2年程度であって基礎的な業務に習熟した介護職員を対象として、的確な判断、対人理解に基づく、尊厳を支えるケアが実践でき、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係として任用することを期待できるレベルの視点や技術を有する職員を養成する。
 - 小規模チームのリーダーや初任者等の指導係等への役割任用の有無にかかわらず、できるだけ多くの介護職員が受講し、資格取得ルートの違い、業種や各職場でのケア理念・実務環境の違いによる経験・能力の違いを補完し、ケアの理念、職業倫理、たゆみなく自己研鑽に向かう行動などの共通の能力基盤を確立するとともに、キャリアについての展望をもつことで早期の離職を防ぐ。
 - 研修機関における演習を主体とし、科目ごとに修了評価を行うこととする。
 - 業種別にもとめられる技能等の違いに対しては、ファーストステップ研修修了者に対する上乗せ研修で対応

介護職員基礎研修(基礎的な介護職業教育)の概要



研修の目的・概要

○ これから介護職員として介護サービスに従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育として、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、プロとして職務にあたるうえでの基本姿勢、基礎的な知識・技術を習得させるとともに、今後、介護福祉士をめざしてより専門的な知識・技術を獲得していくための基盤を形成する。

○ 利用者の状況やケアモデルの変化を踏まえ、利用者の尊厳を保持し、生活全体を支援する個別的ケアの提供、認知症高齢者へのケア、医療・看護との連携やチームケア、地域を基盤としたケアに関する内容を充実。

○ これから就業するものが、ケアの理念の体得、技術習得できるよう、教育方法・時間数を拡充。

○ 講義と演習を一体的に展開。

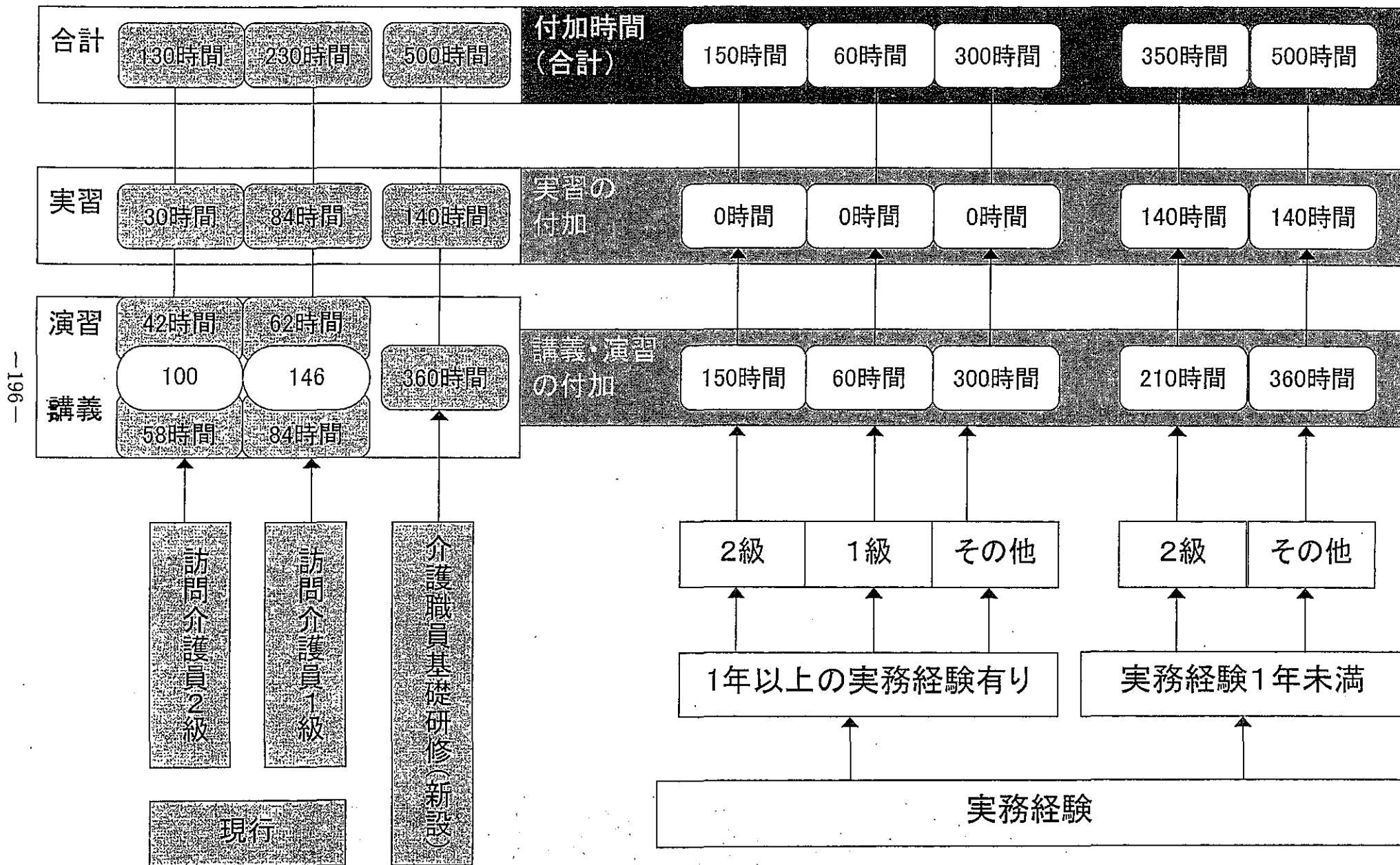
○ 各研修機関において受講者の知識の理解度、介護技術の習得度を評価。

○ 介護福祉士養成カリキュラムとの一定の整合性に配慮。

○ 受講しやすくするための柔軟な研修展開。

○ 訪問介護員資格を保有する現任者等が受講する場合は、これまでの研修受講歴、実務経験等を十分に評価し、受講科目の免除等を行う。

訪問介護員資格がある者等が介護職員基礎研修を受講する際の時間数の考え方



介護サービス従事者の研修体系のあり方に関する研究事業について

1. 研究の目的

高齢者の尊厳を支えるケアの実現という観点から、介護職員のキャリアの開発を支援する研修体系等のシステムのあり方を検討し、介護職員が継続的な能力、キャリア開発の意欲をもって就業できる環境の整備を図るとともに、介護職に対する社会的評価の向上、介護サービスの質の向上に資する。

2. 研究実施主体

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
「老人保健事業推進費等補助金」により実施する

3. 委員名簿（順不同／敬称略）

（1）本委員会委員

委員長	堀田力	さわやか福祉財団理事長
副委員長	樋口恵子	高齢社会をよくする女性の会代表
	石原美智子	㈱新生メディカル代表取締役
	川越博美	聖路加看護大学教授
	須永誠	東京都社会福祉協議会研修室室長
	田中雅子	(社)日本介護福祉士会会長
※	栃本一三郎	上智大学文学部総合人間科学部教授
※	中島健一	日本社会事業大学社会福祉学部教授
	西川真規子	法政大学経営学部助教授
	堀越栄子	日本女子大学家政学部教授
※	山田尋志	(福)健光園高齢者福祉総合施設 ももやま理事 園長
	若月健一	佐久総合病院老人保健施設施設長
	和田敏明	(福)全国社会福祉協議会事務局長 (平成17年3月まで)
	齊藤貞夫	(福)全国社会福祉協議会事務局長 (平成17年4月より)

※…作業委員会も担当

【オブザーバー】

厚生労働省老健局振興課

厚生労働省老健局計画課

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

(2) ワーキングチーム委員

研修カリキュラム等の検討のため下記ワーキングチームを設置した。

① チームリーダー研修等担当ワーキングチーム

- 座長 ○ 中島 健一 日本社会事業大学社会福祉学部教授
落合 将則 小山田老人保健施設施設長
- 川越 博美 聖路加看護大学教授
久保田秀美 (株)ジャパンケアサービス執行役員・東北支社長
柴田 範子 東洋大学ライフデザイン学部専任講師
諏訪 さゆり 認知症介護研究・研修東京センター
主任研修主幹
- 田中 雅子 日本介護福祉士会会長
内藤佳津雄 日本大学文理学部助教授
宮島 渡 アザレアンさなだ施設長
- 山田 尋志 健光園高齢者福祉総合施設ももやま理事園長

○は研究委員会委員

② 介護職員基礎研修担当ワーキングチーム

- 座長 ○ 中島 健一 日本社会事業大学社会福祉学部教授
奥堀 恵 (株)新生メディカル在宅サービス部長
國光登志子 立正大学社会福祉学部助教授
是枝 祥子 大妻女子大学人間関係学部教授
都崎 博子 三鷹市高齢者センターいちよう苑所長
平川 汀子 介護老人保健施設
高齢者ケアセンターゆらぎ副施設長
村田みちる 周防大島町社会福祉協議会在宅福祉課長

○は研究委員会委員

4. 協議経過

2004年11月の第一次中間まとめまで、本委員会を5回、作業委員会を4回開催し、検討した。第二次中間まとめについては次のように検討を進めた。

(1) 本委員会

- 第6回 (2005年1月27日) 研修カリキュラム検討の方向性について
- 第7回 (2005年6月30日) 研修カリキュラムの内容について
研修の導入策等について
- 第8回 (2005年7月20日) 第二次中間まとめについて

(2) 作業委員会

- 第5回 (2004年12月13日) 研修カリキュラム検討の方向性について
- 第6回 (2005年6月13日) 研修カリキュラムについて
研修の導入策等について

(3) ワーキング

①チームリーダー研修等担当ワーキングチーム

- 第1回 (2005年2月21日) チームリーダー以上の研修の方向性について
- 第2回 (2005年3月9日) ファーストステップ研修の方向性について
- 第3回 (2005年4月12日) セカンドステップ研修等の方向性について
- 第4回 (2005年4月25日) ファーストステップ研修カリキュラムについて
セカンドステップ研修等の内容について
- 第5回 (2005年5月17日) 全体のまとめ

②介護職員基礎研修担当ワーキングチーム

- 第1回 (2005年3月7日) 介護職員基礎研修の方向性について
- 第2回 (2005年4月11日) 介護職員基礎研修カリキュラムについて
- 第3回 (2005年5月9日) 介護職員基礎研修カリキュラムについて